

開 議

○小関勝助議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、10番、町田義昭議員、1名であります。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○小関勝助議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

なお、赤間泰広議員から資料の配付について申し出があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

それでは、順次ご指名いたします。

赤間泰広議員の質問

○小関勝助議長 順位6番、議席番号1番、赤間泰広議員。

(1番赤間泰広議員登壇)

○1番 赤間泰広議員 おはようございます。公明党の赤間泰広でございます。

初めに、このたびの市長選におかれまして3選目の当選を果たされました内谷市長に対して心よりお祝いを申し上げます。

さて、質問に入らせていただきます前に、市民の皆様に御礼と感謝の言葉を述べさせていた

だきたいと思えます。

公明党は今年、11月17日、結党50周年の大きな節目を迎えました。長きにわたり公明党を支え見守ってくださいました皆様に心より厚く御礼申し上げます。これからも市民の皆様の声を市政に届け、よりよい生活の向上を目指し頑張っていることをお誓い申し上げます。

また、意義ある月に一般質問をさせていただきますことに、重ねて御礼を申し上げます。

それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

質問の1番目、今回の市長選での争点にありました、かわと道の駅観光交流センターについて、まだまだ市民の皆様にご理解いただけてないと、選挙戦を通じて強く感じたところであります。

議会、まち、各地区のタウンミーティング等で、市長は精力的に説明等をなされてきたわけではありますが、とりわけ若い方々に対してはまだまだであると強く感じたところでございます。

この際、この市議会を通じて市民の皆様へ、どうしてかわと道の駅観光交流センターが必要なのかを含めて説明していただきたく思います。

かわと道の駅観光交流センターに関連する事業がどれくらいあり、進捗状況はどのようになっているのか、そして予算の執行状況はどのようになっているか、そして今後の進め方はどのようにしていくのか、お尋ねいたします。

2番目の質問です。市民の安心・安全について、AEDの設置状況について質問させていただきます。

公明党が全国で普及を推進してきた自動体外式除細動器AEDであります。この使用が一般人にも認められるようになってから7月で10年が過ぎました。厚生労働省研究班のまとめによりますと、普及台数は40万台に迫っており、現在では45万台を超えているとされております。NPO法人AED普及協会の大久保代表理事に

よりもすと、日本は人口1人当たりのAED普及率が世界一だということでもあります。

AEDは、心臓の心室がけいれんを起こし、心室細動で、体に血液を送り出せなくなった状態を、電気ショックにより心臓の動きを正常に戻す装置であります。従来は医療従事者のみに使用が認められていたが、2003年に救急救命士に使用が拡大され、2004年7月には一般市民にも解禁されました。

学校を初めとした公共施設、商業施設などを中心に急速に普及しているAEDですが、総務省消防庁では、ことし7月、全国の消防本部に対し、さらなる有効活用に向け、市民が設置場所を知ることができるよう情報提供することや、設置施設の従業員や周辺住民らに対する応急手当ての普及促進などに取り組むよう求めています。

それでは、長井市の現状、状況はどのようなかをお尋ねいたします。

市内にはどのくらいAEDが設置されていますか。また、これで十分なのか、今後の設置予定はあるのか。講習会の開催も大変重要になってくるものと思われま。

以上、あわせてお尋ねいたします。

次に、防犯カメラの設置状況について質問をさせていただきます。

先日、当局からの報告書を拝見しますと、小・中学校ではほとんど設置されていることがわかりますが、公民館など公共施設においてはまだまだのようであります。

昨今のテレビ、新聞のニュースを見ますと、全国各地で通り魔的犯罪が多数報道されており、子供や弱者に対する犯罪が多発しており、子供を持つ親としては絶対許すことができないことでもあります。

幸いなのか、私が知らないだけなのか、長井市では起きてないようであります。しかしながら、犯罪はいつ起きるかわかりません。そんな

意味でも防犯カメラは、ここが大変重要なことですが、犯罪の抑止や事件の早期解決につながるわけで、安心・安全な住みやすいまちづくりのためにも公共施設や市街地の人の集まる場所へ設置することをご提言したいと思います。市長のご所見をお伺いいたします。

さて、3番目の質問、子育て支援についてであります。

過去4回ほど質問をさせていただきました。完全給食がなされてない当時、長井市の先人、先輩方は先をしっかりと見据え、子供は社会全体で育てるとの気構えで人を育てる、まさに100年先を見据えての大英断だったのだと思います。

今の経済状態を考えると、賃金の伸び悩み、勤務時間の多様化など、子供を抱えている子育て世代には大変厳しい現実が襲いかかっています。行政として、いまま少し援助の手を差し伸べてはと申し上げたい。子供を育てるなら長井市と言われる長井市をつくってまいろうではありませんか。

ここで、何を言ってるのかというと、給食費の無償化でございます。ぜひ、市長の3選目の公約にもありました子育て支援の充実についての給食費の無償化に、ぜひ市長のご英断をお願いしたいと思います。

以上で壇上からの質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。（拍手）

○小関勝助議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 おはようございます。

赤間泰広議員のご質問にお答えいたします。

まず最初に、公明党さんが結党50年を迎えられたということで、大変おめでとうございます。大衆の政党として、今後も私ども市民目線から、ぜひ国政に、また私ども市町村のさまざまな行政運営にもご指導賜りますようお願い申し上げます。

それでは、赤間議員からご質問いただきました3点について、順次お答えしたいと思います。

まず最初に、かわと道の駅に関連する事業の進捗状況ということで、そもそもどうしてかわと道の駅が必要なのかと。今回の市長選挙でもかわと道の駅が争点になったということで、大分市民の皆様の中で誤解されている方が多いんじゃないかというお話、ご意見でございました。

私もタウンミーティングをこたしの5月から、5月の末ぐらいからですね、精力的に、52カ所をさせていただくということでお願いしたんですが、残念ながら途中で選挙戦になったということで30カ所ほどしか開催いただけませんでしたけれども、長井市全般のまちづくりについてのタウンミーティングでございましたので、選挙戦の争点になってからとって、かわと道の駅についてだけ話してできませんでしたので、そういった意味では大変よい機会を与えていただいたと思っています。

できるだけ簡潔にお話ししますが、話をしますと30分、1時間ぐらい話ししないと、正確なところは伝わらないかもしれませんが、できるだけ簡潔にお話をしたいと思います。

まず、そもそもどうしてかわと道の駅というものを、この都市再生整備事業の基幹事業の一つとして建設しようとしているのかということでございますけれども、これは赤間議員もご承知のとおり、平成13年、14年ごろに、長井市の物づくりの基幹企業であった2つの大きなグループ会社が清算とか、なくなったということで、平成13年から17年の、いわゆるGDPっていうんですか、長井市の市民の総生産額というのがマイナス20%ぐらい落ち込んでしまいました。また同時に、雇用も2,000人近く減ったということで、これを何とかしなきゃいけないというのが私が8年前に就任させていただいたときの私の危機感でございました。

そこで、平成19年度からでございますけれども、経済再生戦略会議というものを組織して以降3年間、さまざまな長井市の経済をどうい

ふうに建て直すかと、3つの視点からいろんな市民の皆様のご意見をいただいたところでございます。

識見の方としては、一橋大学の関先生、あるいは山形大学人文学部の北川先生初め多くの識見の方、あと市民委員含めて3年間で延べ200名の方から、もちろんダブっていらっしゃる方も大勢いらっしゃるんですが、いろんなご意見をいただきまして、その中で、農業部門の中で農産物の直売所をぜひつくるべきだという発想が導き出されまして、それが菜なポートの開所につながったものでございます。

同時にその際にも、将来はぜひ、農業サイドの意見としては道の駅を長井市でもつくるべきだというお話でございました。

また、ちょっとさかのぼりますが、平成10年ごろに長井ダムの周辺環境整備の委員会の中で、長井は川のまち、水のまちなので、水の駅もしくは川の駅をつくるべきだというような、これは河川沿いにですね、そういった意見などもまとめられておりまして、そこから長井の場合は単なる道の駅ではなくて、長井の最上川舟運の文化や水をPR、生かす、かわと道の駅というものがいいんじゃないかと。ただしこれは単なる飯豊とか白鷹に、あるいは小国にあるような道の駅ではなくて、観光交流の拠点とすべきというような考え方から、今回、都市再生整備事業で、この事業を基幹事業として位置づけをとというふうに考えたところでございます。

いろいろやはり今回の選挙の争点になったということで、特に議会の皆様はよく情報をご存じなわけですが、考え方は、16名の議員がいらっしゃればそれぞれ捉え方も考え方も違いますので、この解釈がいろいろあったんだろうというふうに思っています。

特にこの都市再生整備事業でないで長井市の場合にはこういった関連事業は進められません。というのは、飯豊町、小国町等々では過疎債と

いう、国から特別優遇の制度を活用して、場所はどこでもいいんですね。そのまちの自治体の好きなところにつくって、そして過疎債の支援を認めてもらえれば7割補助でつくれるということではありますが、私ども都市自治体ではそういった過疎債、過疎地域を持っておりませんので、それができないということから、長井市の場合は都市再生整備事業という、いわゆる都市計画区域内での産業振興の施設としてこのかわと道の駅を位置づけたところでございます。あわせて、特に中央地区の生活環境整備がここ20年来、もちろんほかの5地区についてもそうなのですが、なかなか市民のご要望にお応えできなかったということから、都市再生整備事業ですと産業の活性化、同時に生活環境整備、一緒にできるということから、この事業を平成24年度に国のほうで採択、直接いただきまして、そしてこの事業に取り組んだところで。

問題は、なぜ中央地区であんなところなんだというような意見が、まず最初に出たわけですね。ここは私ども行政側からの議会に対する説明なども不十分だったところもありますけれども、道の駅のまず設置場所というのは、交通量がそのまちでも一番多いところが一番望まれるわけです。なおかつ長井市の場合は観光交流センターということでありますので、長井市の中で交通量が多く、なおかつ観光バスとか観光の交流のためのお客様の車が通るところといいますと、当然287号線。287号線の都市計画区域内、中央地区というふうに考えますと、桜大橋から長井橋までの間の287号線沿いが最適だということになりました。加えて、川と水に関連するということに考えますと、最上川と並行して287号線が走っているところがその区間でありますので、川沿いのところっていいますと東側ということになりまして、予定箇所が3カ所ほど、タスの北側、南側、もしくは今回の場所、この3カ所ぐらいしか、1ヘクタールぐらい比

較的容易に場所を確保できるところがなかったということで、最終的には、かわまちづくり推進協議会を中心としたこの観光交流センター検討委員会の中で現在の場所が最適となったところでございます。

したがいまして、道の駅などは必要ないという声もありました。これは観光交流センターですから、道の駅ではないということは何度も申し上げてるんですが、非常に意識して、飯豊のような道の駅をイメージさせられてしまったのかなと。ただ、これは私どもの説明も悪かったのかもしれませんが、あくまでも長井市の観光交流のへそとして中央地区に、いわゆる町なか観光交流のお客様を誘導するためのセンターだという考え方でこの事業を進めておりますので、これは今後事業が進んでいく中でご理解いただけるものだと思いますし、あと農業振興、農業の6次産業化の振興、そして食品加工、お土産などの産業振興ということが目的でありますので、道の駅は要らないということは、じゃあ産業振興としての市の政策をじゃあどういふふうにするかという議論がなくて反対だけ、イメージ先行でそういったことを選挙の争点にされたということは非常に残念だったなというふうに思っているところでございます。

では次に、かわと道の駅に関連する事業がどのぐらいあるかと、進捗状況、予算の執行状況はということでございますが、平成24年度より着手しております都市再生整備計画事業は、水と緑と花のまちにふさわしい景観に配慮したまちづくりを目指し、まず第1点目としては、水と緑と花のまちにふさわしい町並み整備として、自然や歴史的施設等を生かした町並みを整備し、町なかのにぎわいづくりを推進するということ、そして2点目が、人と人が触れ合うまちづくりとして、市民や他市町村からまちを訪れた人たちが触れ合い、魅力を感じるまちづくりの推進を目標に、基幹事業として5つの事業、そして

提案事業3事業、関連事業を目的達成のための一つのまとまりの事業として国に認可いただき、事業を進めております。ことしで3年目でございます。

事業の進捗ですが、基幹事業では、掘切桐町線の石畳整備、これはあら町でございますが、これは街灯と側溝等の整備を含めて整備済みでございます。また、この10月より販売開始となりました百間道路沿いの長井市宅地開発地内の台町北線や、提案事業の大樋川の消流雪用排水路等が既に完成をしております。今年度は基幹事業の、これは十日町、横町に隣接する寺泉いちょう公園の整備や関連事業の市道館町線、市道平山境町線、市道平山中道線の道路整備工事に着手しているところでございます。これは館町北の消雪道路とか清水町の消雪道路、それから中道の消雪道路の整備工事に着手しており、それ以外にも測量設計など幸町の道路改良とかですね、大きいものと、そういったものも一緒に行っております。また、基幹事業の中心となります観光交流センター、これは仮称かわと道の駅、につきましては現在実施設計中でございまして、関係機関、いろんな団体との調整を行っております、用地買収につきましては旧マーク工場、旧食糧事務所について完了し、解体工事に着手しているところでございます。

予算の執行状況でございますが、都市再生整備計画の全体事業費、これは減額をいたしまして、17億5,209万円のうち今年度末までの執行予定額が6億6,072万8,000円、これは12月の今回の補正は含んでおりません、となっておりますので、約37.7%の実施となります。観光交流センターの事業費では、全体事業費8億9,140万円のうち今年度末までの執行予定額が3億2,478万7,000円となっております、約36.4%の進捗でございます。

質問の3つ目、今後の進め方はと、議員からは特に未来に希望が持てるような、もし話があ

ればということでもございましたけれども、観光交流センターの機能といたしまして、観光資源や観光ルートの観光案内、体験プログラムや観光イベントガイドの受け付け、無料休憩所、トイレ、また地元産の農産物や加工品の紹介や販売を行ってまいります。中心市街地や市内の観光資源と一体整備することで町なか観光を推進し、より経済波及効果を高めることができると考えております。また、最上川や河川敷内のフットパスなどを生かしながら長井の舟運文化の紹介をしていくことで、多面的な魅力を持つ、特徴のある、全国的にも珍しいかわと道の駅として、誘客力のある観光拠点となるよう整備を進めてまいりたいと思っております。

なお、このために平成24年度に観光振興計画を、清水慎一先生のいろいろなご指導をいただきながらつくっております、現在は観光プラットホームということで、これも最終的には観光交流センターの設立と開所とあわせて、そこに設けながら、外からいらした観光客、交流客の方々に市内のいろんなところにワンストップでサービスできるように、また、市内の、これは農家やお土産屋さん、あるいはお菓子屋さん、食品加工屋さん、そういったところと、旅館などももちろん飲食店もそうだと思いますが、連携しながらつないでいくと。あそこのプラットホームに行きますと、全て長井の、例えばおいしいおそばが食べたいといったら、こういったところにお店がありますと、特徴がこうこうですと。例えば長井ならではのおいしいお菓子を買いたいといった場合は、その観光交流センターで一部は置いていただきますけども、そのお店はこういったところにありますということで、そういったものを案内できる、そういった機能などを含めたプラットホームを同時に開設するというふうに考えております。

あと、これは観光交流センターだけではございませんが、都市再生整備計画、この事業を行

うことによりまして、現在進めております本町の街路事業、これらについては当然、県道ですから県の事業ですが、その県道に接する市道がたくさんございます。その市道の整備もしなければなりません、この都市再生整備事業でいろいろ関連事業を整備しております。したがって、桐町成田線の街路事業を推進すると。あわせて今後、駅前通りの街路事業、歩道をつくる事業も本町が終了次第、そちらにも着手しますので、そういった際には引き続き今度は第2次の都市再生整備事業を組み入れながら、道路の整備はもちろんですが、ぜひ町なかの水路、河川、こういったところの整備を災害対策として、また、全国でも非常に珍しいまちの中の水路だということで、この水路を生かした都市再生整備事業も必要なのではないかとということで、今、検討しているところでございます。

したがって、こういった事業をすることによって、今、商工会議所と一緒に進めております中心市街地活性化基本計画の策定を27年度中に何とか認定をいただいて、さらに町なかに、市が事業主体となって、市民の皆様の必要とされるさまざまな機能の施設を町なかにつくっていくと。それによって公共のほうではにぎわいづくりの一翼を担わせていただいて、それに民間がさまざまな投資をすると。その中には、きのうございました健康長寿、介護、医療の里、福祉のまち長井としての機能も町なかにもつくっていくということによりまして、特に働く場がなくて若い人たち、女性の方たちが仕事を捜せないということでありますので、町なかの中心市街地の活性化により多様な雇用や就労の場、あるいは自分で新たな仕事、事業を起こすということができるよう長井を目指してまいりたい。これがすなわち長井が西置賜1市3町の中心のまちとして、これ以上、西置賜から人が減らないような、今度は人のダムとなるような都市機能を充実させていくということが究極の

目的ではないのかなというふうに思います。

続きまして、2番目の質問にお答えいたします。市内の、市民の安全・安心についてということで、AEDの設置状況並びに防犯カメラの設置状況ということでございます。

議員からは、静岡県三島の広報ということで、AEDの設置店舗の特集ということで、コンビニを中心とした民間の施設にこういったものがありますよというような資料もいただきました。これらについては後ほどいろいろご意見などもあるかと思っておりますので、参考までに、大変ありがたい資料をいただいたと思っております。

長井市内におけるAEDの設置状況は、健康課で調査したものとして、長井市設置分が、市で直接設置している分が15カ所となっております。そのほかに国や山形県で設置しているものとして、国3カ所、山形県分7カ所で、25カ所でしょうかね、自治体、国、県でやってるということについては25カ所。また、一般財団法人日本救急医療財団のホームページや消防本部による調査結果によれば、民間分が34カ所、消防3カ所ということで設置箇所が上げられておまして、長井市全体の設置箇所合計は、確認できる数としては62カ所に設置されております。

また、12月補正予算において、市営スキー場及び武道館の2カ所に増設する予定であるとともに、来年度予算においては設置未了の地区公民館3カ所にも設置予算を計上する予定でございます。また、市内で開催されるイベント時には、保健センター及び本庁舎に設置しているAEDを貸し出ししている実績もございます。

次に、防犯カメラの設置状況でございますが、市民課で所管している防犯カメラは平成26年11月19日付議号外により提出を求められた資料に記載のとおり、長井駅、これは山形鉄道本社社屋1カ所、本町大通り商店街街路灯1カ所の、計2カ所に設置してございます。あとは議員からございましたように、市のほうでは小・中学

校等を含めたものということでございます。

次に、3点目のご質問の子育て支援についてということで、給食費の無償化についてのご提言でございます。

学校給食の無償化については、この3月定例会を含め、議員からは数回にわたりご提言をいただいております。少子化対策や子育ての重要性に対するお考えには敬意を表するものでございます。ただし、これまで答弁させていただいたとおり、残念なことに現時点で学校給食の無償化に対する基本的な考え方は、ちょっとまだ時期的に難しいのかなというふうに思っております。

例えば先ほど都市再生整備事業のお話をさせていただきました。全体で17億円、18億円弱ぐらいの予算でございますけれども、これは基本的に国の補助が4割補助と6割補助、そして交付税措置がありますので、全体としては五十二、三％から七十二、三％ぐらいの補助率であります。

そうしますと、例えば学校給食というのは1億2,000万円ぐらい保護者の負担であります。ことしから、赤間議員からのいろんなご提言などもあって、給食費の値上げ分、14％部分を長井市で負担しておりますので、実際のところは1億4,000万円近い保護者負担ですね。そのうち1,400万円ぐらいを私ども、1割ぐらいを私どもで負担しているわけですね。9割負担で、1割は市で負担していると。これは山形県内では多分長井市だけだと思いますけれども、残りの1億2,000万円を長井市が全額負担した場合、例えば20年賦でいろんな事業を行っていくというふうに考えますと、約24億円のいわゆる負担ですよ。そうしますと、公共事業に直すと、都市再生整備事業でしたら60億円ぐらいの事業に匹敵する実は負担だということなんです。これは、そういった補助事業とこの事業は一緒にはできませんけれども、やはりそれぐらい重

い決断をしなきゃいけないと。一旦やってしまって途中でやめたというふうにはなかなかできないだろうと。

なおかつ、実は小・中学校の子育て支援については国のほうで授業料はかからないわけで、しかも教科書等は無償であります。学校給食については、調理部門は市で負担しているわけですね、あと搬送部門とか。それらの負担というのは1億円以上かけているわけです。したがって、学校の給食法といいますか、文科省の給食にかかわる法律で定められている、食材費は保護者負担だということに基づいて、どこの市町村も基本的には学校給食は食材分については負担してくださいと。それ以外の部分は行政で持ちますというふうにしてるんですね。

一方で非常に手薄なのは、私はゼロ歳児から就学時前の幼児から園児だろうというふうに思っています。ゼロ歳児から6歳児までは非常に負担が大きいと。それは、医療費はおかげさまで中学3年まで、この2月からは完全無料化になりますけれども、児童センターの使用料、保育園の保育料、それから幼稚園の教育料というか授業料ですよ、そういったものというのは、児童センターですと一律で1万8,000円とか、あと園児バスを利用してどうのこうのとかってあるんですけども、それでも月、園児バスを利用されている、児童センターを利用されてる保護者はそれ以外にも、我々1食100円とか補助してましますけれども、弁当代もかかるわけですね。そうしますと、児童センターを利用されている保護者は一月2万円以上かかると。保育園を利用されている保護者については、これは所得によって差があるんですが、やっぱり平均で3万円から4万円ぐらい。幼稚園もやっぱりそれ以上かかっているケースもあるんですね。したがって、その負担は非常に大きいと。

ですから、その部分をやっぱりもう少し、小・中学校の学校給食を無償化する前に、そち

らにもっと経済的負担の支援をすべきじゃないかというふうに考えておりました、それらもあわせまして、とりあえずは学校給食については今回14%値上げの部分を長井市で持たせていただいて、なおかつできるだけレインボープランの農産物も含めた地産地消の学校給食をとということで支援しておりますので、今度は就学時前の子供たちのための支援というものをもう少し充実させていきたいというふうに思っていますので、ぜひその辺はご理解をいただきながら、引き続き学校給食、また、できれば園児とか幼児の食材なども学校給食と同じように地産地消で、レインボーのできれば野菜とか認証米などで支援できるような、あるいは何か、子ども手当というのはなかなか難しいと思いますが、そういったことをぜひ今後とも考えてまいりたいと思いますので、議員からはいろいろとさらにご提言いただきたいと思います。

ちょっと長くなりましたけど、以上でございます。

○小関勝助議長 1番、赤間泰広議員。

○1番 赤間泰広議員 どうもありがとうございました。いろいろと細々と説明いただきまして、ありがとうございます。

最後のほうから再質問ということでさせていただきますと思います。

私、子育て支援ということで、給食費の無償化ということで、これで4回、5回目ですか、ほどさせていただいております。

いろいろ厳しい事情、市長から今、お話伺ったわけですが、でも中身的には、給食費も14%値上げするところを、ことし、今年度は中身の充実ということと、あと父兄が負担する分を軽減していただいたということについては本当に感謝申し上げたいと思います。本当にこれは前進だなというふうに私個人では思っております。さらなる支援ということでお願いしたわけでございます。しかしながら、今、厳しい厳しいと

いうことでできない。

ただ、私がお質問させていただいておったのは給食費の無償化であったんですけども、市長からはさらにそれを踏み込んでいただいて、小学校前のゼロ歳児から6歳児の何か支援をしていただけるというような強い決意をいただいたわけですが、それは一体どういう。例えば保育料の無償化とか、そういったことを考えてのご回答だったのでしょうか。何かちょっとひょうたんからこまが出てきたみたいで、私的には本当にうれしい限りなんですけれども、給食費以上に何か補助をしていただけるというようなお話なのかなと。勘違いですか、私の。再度…。

(「通告してねえことまで」と呼ぶ者あり)

○1番 赤間泰広議員 通告してはおりませんけれども、市長のほうから回答をいただいたものだから、そのように私、再度質問させていただいたところでございます。まずければ、後で。まさか別室つつうわけにはいかないと思いますので、子育て支援課を通して、何か検討していただければなというふうに考えてます。

本当に市長が今回の3つの重点目標と10のチャレンジということで、本当に私、このチャレンジという言葉が大好きなんです。私、父母にも幼いころから、きのうよりはきょう、きょうよりはあした、とにかく一歩でも二歩でも前へ進めと、1センチでも2センチでもいいというふうに育てられてきたわけでございます。このチャレンジしていくつつうのは本当にこの長井市を背負って。背負ってつつうか、担っていくっていうんですか、そういう意味では本当にいいことだなというふうに感じておるところでございます。

この中に、2番目に、幸せに子育て、教育の充実ということで、子育て世代の経済負担軽減に全力投球していきますというのが、多分今言われたこと、それ加味されておっしゃったんだ

なというふうに思いますので、ぜひ給食費も含めて、さらに充実していただければ、負担軽減していただければなというふうに思います。

初めから給食費半分でいいですよって言ってしまうと半分になっちゃいますので、私は無償化とあえて申し上げているわけでございますけれども、例えば子育て世代では、3人、2人、3人と、3人目から無償にするとかという市町村もかなりあるようでございます。

先日、南陽市の市長のインタビューというのを私、山形新聞で拝見したんですけれども、そこには本当に、ああ、やっぱりどこも似たようなことをしてるんだなということで、3人目から給食費の無償化について検討していきたいななというふうなことを書いていましたので、ぜひ長井市も2人目からとか、給食費の無償化なんつうのは、もし考えていただけるのであれば検討していただきたいと思いますけれども、ぜひその辺のこと、決意などありましたら教えていただきたいと思います。お願いします。

○小関勝助議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

子育て支援についてということで、赤間議員からは給食費の無償化についてを中心にご提言、ご質問いただいたというふうに考えまして、そこから、学校給食を無償化するのは意義あることだとは思いますが、なかなか余り無理をさせていただきますとちょっと負担が大きいので、その前に改善しなきゃいけない部分として、例えば就学時前の子育て支援ということで、先ほど答弁をさせていただいたところです。

その中では、例えば児童センター、保育園、幼稚園の2人目のお子さんの場合、例えば保育料を半額とか、3人目を無償化ということをしている市町村がふえてきてます。私どもはそこは完全にまだなっておりませんので、そういったところをまずきちんとやっていかなきゃいけないのかなと。あとは特に山形県の中では飯豊

町の子育て支援策、これソフトのほうでは非常にすぐれているというふうに思ってます。それだけ国のほうからそういった事業についても手厚く支援してもらってるということなんですよけれども、私どもの場合はそういった支援が国からはありませんので、単独で、なおかつずっと続けられるものというふうにして考えた場合にどこまでできるかということ、まず今年度中にしっかりと検討して、来年度からそれをぜひ組み入れてまいりたいというふうに考えているところです。

赤間議員からあった、南陽市のほうで3人目の給食費を無償というふうなお話がありました。学校給食というのは小学校、中学校だけです。中学校ぐらいになると、今度は部活動なんかで非常にお金もかかるというのはわかりますので、その辺は私どもとして、ちょっと学校給食の無償化3人目というのは考えてはおりませんでしたが、それら全体を含めて、どのような子育て支援策がいいのか、経済的負担の軽減をどこの部分からやっていくべきなのか、これらをいろいろ検討しながら、まず、いきなり来年からぼおんというふうにはいかないかもしれませんが、一つ一つ毎年進展するような格好でぜひ検討して充実させていきたいと思っておりますので、赤間議員からもいろいろご意見、ご提言などをいただければというふうに思います。

○小関勝助議長 1番、赤間泰広議員。

○1番 赤間泰広議員 よろしく願い申し上げます。

時間も余りないんですけど、次に、2番目の質問であります市内のAEDの設置状況ということで、若干ちょっとお聞きしたいと思っております。

先ほど市長にもおっしゃっていただいた「広報みしま」という、お手元に配付しております、こういう、長井市でもここにありますよというふうな、こういう設置場所を書いた地図とか一

覧表なんかはあるのでしょうか。それちょっとお尋ねしたいんですけども、わかりますか。

○小関勝助議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 私の知る範囲では、残念ながらそういった一覧はつくっておりませんが、こういったものをつくりつくりしていく必要はあるというふうに認識しておりますので。やっぱり調査をかけないと、多分だめだと思うんですね。私どもも、このきょういただいた資料を見て、ああ、コンビニでも全部設置してあるんだなということで、ちょっと認識不足でした。あとは民間の企業でも結構置いていらっしゃる場所があります。ですから、そういったところも含めて、やっぱり調査しないと正確なところはわからないと。これは設置した場合に報告義務とかならないですか、です。ただし議員おっしゃるように、そういう一覧があると、市民の人は何かあったときにどこにお願いに行けばいいかということがわかると思いますので、これはぜひ検討してまいりたいと思います。

○小関勝助議長 1番、赤間泰広議員。

○1番 赤間泰広議員 ぜひこういう検討していただきたいと思います。

それから、やはりコンビニというのは24時間オープンで、もし何かあって、すぐ、ああ、コンビニに行けば大丈夫だというのがこの辺に頭にでもあれば、市民の皆様も使い勝手がいいというんですか、大変よくなると思いますので。さらになかったらコンビニに置いてくださいというぐらいに持っていただければ最高なんですけれども。ぜひ、誰が見てもわかるような使い勝手のいいような方向に進めていただければなというふうに思います。

何かございますか。

そんなことで、よろしくお願ひ申し上げたいと思います。

それから、防犯カメラの件ですけれども、先ほどいろいろ当局のほうから資料もいただいて

おります。結構あるんだなというふうに私、62カ所、ああ、これは違うのか。

さまざまあるということで、まだまだ私的には不足してるんじゃないかなというふうに考えています。

そして、特に今回、かわと道の駅なんかも、学校も近いし、それから保育園、幼稚園ですか、そういったものも近くにありますので、これでもかというくらい、あそこさつけていただければ、ますます安心感が広がるんじゃないかなというふうに、市民の皆様も安心感を持ってあそこを利用できるんじゃないかなというふうに考えますので、ぜひそれも検討していただきたいと思います。

かわと道の駅に関するお話で、大分細々と説明、その経緯から全て説明していただいたわけですけれども、私も今の長井市の現状を考えたとき、私もマルコンで35年間勤めさせていただきました。現場で頑張ってきたわけですけれども、本当にその当時、千二、三百名ぐらいの人がいたわけですね。そして、今となると本当に、何人かつうのは私もちょっと、300人かそこらぐらいなのかなというふうに、推測ですけれども、そんなふうになっているわけです。そしてまた、東芝ライテックも撤退された、そして飯豊にある関連会社はLDFでしたか、この会社も撤退されたということで、本当に長井市の現状を考えたとき、働く場所というのがどんどん少なくなっているという現実を直視すれば、こういうかわと道の駅で、直接雇用、間接雇用も含めて、人の雇用を拡大していくというのは本当に素晴らしいことだなというふうに思っているところでございます。

さらに昨日、どなたかの質問であったんですけれども、農業委員会のほうからも強い設置、かわと道の駅を強く要望があったと、設置してほしいというような要望があったということで、本当に力強いことだなというふうに考えていま

す。

私もいろいろな場所、かわと道の駅に行くわけですが、やはりどこに行っても地場の野菜というんですか、野菜だけに限らず、もちろん手芸の得意な人は編み物とか、つるで編んだかごとか、そういったものも、いろんなものが産直に置いてあるわけですね、かわと道の駅の中にですね。それが人のある程度所得になるということです。本当に何万円というような金じゃないと思うんですけれども、本当に少しだと思うんですけれども、そういったふうに積み重ねていくと物すごい金額になるんだなというふうに思っているところです。

今回もいろいろ応援弁舌なんていうことで、私させていただいたんですけれども、よく大根1本の話させてもらったんです。大根1本、道の駅で買っても恐らく100円。また、スーパー、県外スーパーというんですか、資本の。スーパーで買っても恐らく100円なんです。ただ、その中身が違うというのは、長井市で生産された人の大根なのかということなんですよね。そうすると、やっぱり長井市で生産された人の大根であれば、長井市の人にその売上代金というんですか、そういったものが必ず入ってくるということだと思います。

これも資料として頂戴したんですけれども、これはおらんだ市場菜なポートの運営状況ということで、昨年度までの売り上げが一体どのくらいあのかというようなこともちょっとお聞きしました。1億6,275万8,136円ということだそうです。仮にこれが15%ぐらいですか、手数料を取られたとしても、残るものはそれなりに残るわけでございます。仮に1億2,000万円ぐらい残ったとしても、それが市民の皆様のこと……。仮にでございますので、詳しいことを言われるとちょっと。かなり暑いな、ちょっと。

ありがとうございます。

そういうことなんです、私が言いたいのは、

長井市に落ちるお金というのは、直接。すぐ直接的に何か見えてしまうということがあると思うんですけれども、間接的にはやっぱり長井市に、生産者の人に落ちてるということでございます。この1億6,000万円というのは、簡単に言いますけれども、先ほど市長が言ったように、1年間給食費を無償にすれば1億2,000万円ぐらいかかるということでございます。そういった面から考えても、かなり高額だなというふうに考えているところでございます。

そしてまた、登録者が266人おられまして、実際出品されている人が219人だそうでございます。そうしますと、単純にそれを割り算すれば、私の計算が間違っていれば何ですけれども、70万円先ぐらいは、単純に計算すると入っているということでございます。

そういった面では、やっぱり人の雇用に観光交流センターがすごい重要な位置を占めているということだと思います。ぜひ、人の意見というのはまだまだあると思うんですけれども、真摯に聞いていただいて、よりよい観光交流センターになるように私も願っておりますので、市長もぜひ努力していただきたいと思います。

質問はもうできませんので、これで私の質問とさせていただきます。ぜひよろしくお願ひ申し上げます。

ありがとうございました。

梅津善之議員の質問

○小関勝助議長 次に順位7番、議席番号2番、梅津善之議員。

(2番梅津善之議員登壇)

○2番 梅津善之議員 おはようございます。

12月定例会最後の一般質問となりました。お疲れのところとは思いますが、最後まで